

電池の交換について

交換用電池を用意しています。

- V9150 / V9120 / V9100 / V910xiW / V9080 の場合

名称	型式	構成内容
交換用電池	V9-BT	<ul style="list-style-type: none"> • コイン型リチウム一次電池 1個 • 注意シール 1枚

* 市販の電池を使用する場合は、「CR2450S/CR2450X」をご使用ください。

- V907xiW / V9060iT の場合

名称	型式	構成内容
交換用電池	V7-BT	<ul style="list-style-type: none"> • コイン型リチウム一次電池 1個 • 注意シール 1枚

* 市販の電池はご使用いただけません。

電池取扱上の安全上のご注意

リチウム電池はリチウムや有機溶媒などの可燃性物質を内蔵しているため、取扱いを誤ると、発熱、破裂発火などにより、けがをしたり、火災に至る恐れがあります。万が一の事故を防止するため、下記の注意事項を守ってお取扱いただきますようお願いいたします。



注意

- 電池の交換は専門知識を持つ人が行ってください。
- 電池の交換は人体に溜まっている静電気を放電して行ってください。
- 電池の交換時には指定の電池を使用してください。
- 電池単品で酷使すると、火災や化学的燃焼を起こす原因になります。
- 電池を火の中に入れたり、加熱、分解しないでください。
- 使用済の電池は地方自治体の条例または規則に従って廃棄してください。
- 電池は幼児の手に届かない所に保管してください。(万が一飲み込んだ場合には直ちに医師と相談してください。)
- 電池を絶対に充電しないでください。
- 電池が漏液したり、異臭がするときは、漏れた電解液に引火する恐れがありますので、直ちに火気から遠ざけてください。

SRAM 領域のバックアップ手順

電池「V9-BT」、「V7-BT」は本体の電源を切った状態で、3分以内に交換してください。3分以内に交換できない場合は、V-SFT-6 またはストレージを使用して、SRAM に格納されているデータのバックアップをとります。

V-SFT-6 を使用する場合

- 1) ケーブル接続
転送ケーブル（「V-CP」、USB ケーブル、Ethernet ケーブル）で、V9 本体とパソコンを接続します。
- 2) V-SFT Ver. 6 を起動
パソコン上で V-SFT Ver. 6 を起動します。
- 3) 転送ダイアログを表示
[転送] → [読込] をクリックします。[転送] ダイアログが表示されます。
- 4) 転送データの選択
[転送データ：SRAM データ] を選択します。
- 5) SRAM データ転送開始
[PC <-] をクリックします。SRAM データの転送が開始されます。

6) SRAM データの保存

SRAM データの転送が完了すると、パソコン上に [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。バックアップデータとして保存します。拡張子は「*.RAM」です。

- * バックアップデータとして保存した「*.RAM」ファイルを再度 V9 側に転送する際は、3) で [転送] → [書込] をクリックし、5) で [PC →] をクリックします。

ストレージを使用する場合

SD カードや USB メモリなどのストレージを使用してバックアップをとる方法について、詳しくは別冊『V9 シリーズ トラブルシューティング/メンテナンスマニュアル』を参照してください。

電池交換方法

V9150 / V9120 / V9100 / V910xiW / V9080 の場合



危険

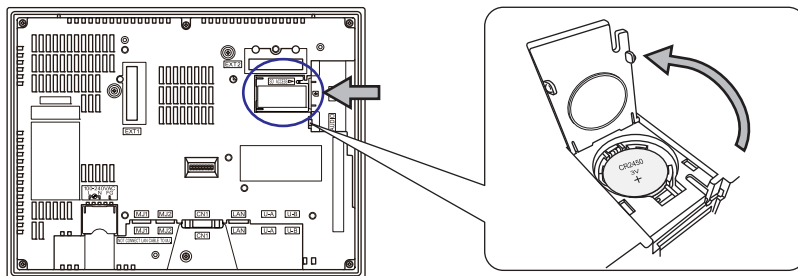
感電の恐れがあります。

以下の 2. ~ 7. の電池交換作業は、V9 シリーズの電源 OFF 状態で行ってください。

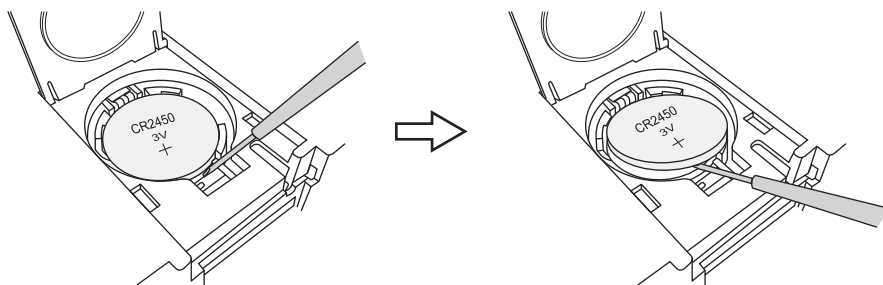
1. V9 本体の電源を OFF します。
2. 電池ホルダのカバーを、矢印の方向から開けます。

例：V9100

[背面図]

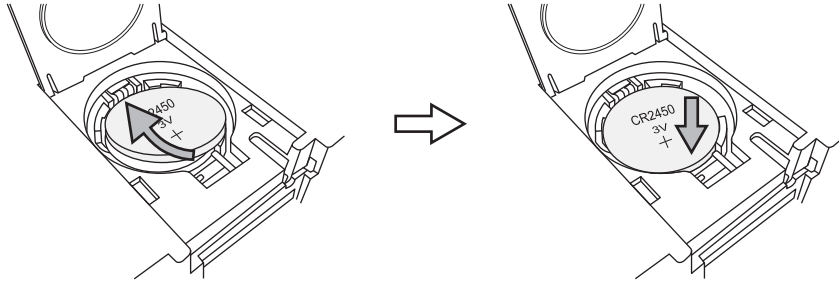


3. 電池右横の隙間に精密ドライバー（マイナスドライバー）を差し込み、電池を押し上げます。



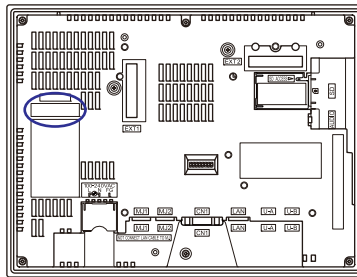
4. 電池を取り出します。

5. 新品電池の「+」面を上に向けて、左側へスライドさせて電池ホルダに入れ、電池の右側をカチッと音が鳴るまで押します。



6. 電池ホルダのカバーを閉めます。
7. 本体背面の「注意シール」(下図○部)をはがします。新しい「注意シール」に、次の交換目安である5年後の年月日を記入して貼り付けます。

[背面図]



8. V9シリーズの電源を入れ、[ローカル画面] 右下の「電池交換が必要です」のメッセージが消えたことを確認します。



9. バックアップデータ「*.RAM」ファイルがある場合は、データを転送します。

V907xiW / V9060iT の場合



危険

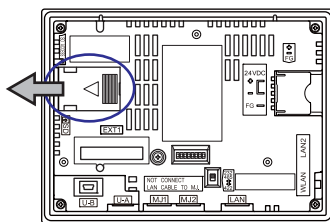
感電の恐れがあります。

以下の 2. ~ 6. の電池交換作業は、V9 シリーズの電源 OFF 状態で行ってください。

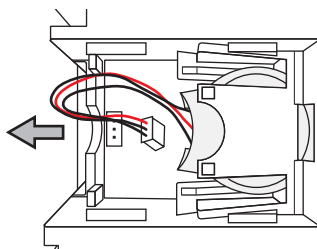
1. V9 本体の電源を OFF します。
2. 電池ホルダのカバーを矢印の方向へスライドさせ、外します。ソケットにセットされた電池が現れます。

例：V907xiW

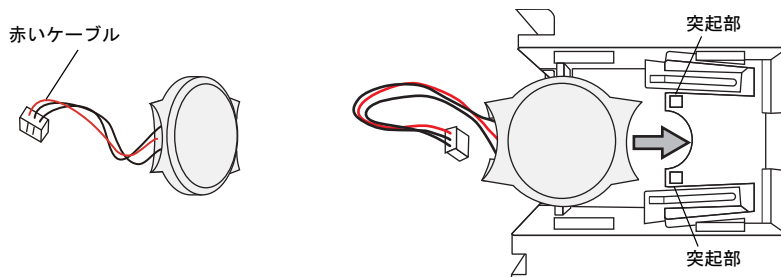
〔背面図〕



3. 電池のコネクタを外し、電池を左側へ引っ張り、ソケットから取り外します。



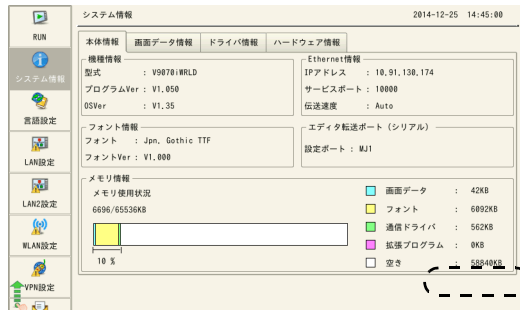
4. 新品電池を差し込みます。この時、赤いケーブル側の面を下にし、ソケット内部の突起部に固定します。



5. 電池コネクタを取り付け、電池ホルダのカバーを閉めます。
6. 新しい「注意シール」に、次の交換目安である 5 年後の年月日を記入して、空いている部分に貼り付けます。

* V9 シリーズ本体およびオプションユニットの空気穴をふさぐ位置に、シールを張り付けないでください。

7. V9 シリーズの電源を入れ、[ローカル画面] 右下の「電池交換が必要です」のメッセージが消えたことを確認します。



8. バックアップデータ「*.RAM」ファイルがある場合は、データを転送します。

欧州電池指令 2006/66/EC に関する注意事項

EU 加盟国内における欧州電池指令 2006/66/EC の施行に伴い、V9 シリーズ本体の梱包箱の銘板および交換用電池の梱包箱の銘板に右記のシンボルマークが付けられています。



注意

- ・上記シンボルマークは欧州連合加盟国においてのみ有効です。
- ・上記シンボルマークは、EU 指令 2006/66/EC の第 20 条「エンドユーザーへの情報」および付録 II にて指定されています。
- ・上記シンボルマークは、電池を廃棄する際に、一般ゴミとは分別して処理する必要がありますを示します。
- ・上記シンボルマークの下に元素記号が表示されている場合、該当する重金属が、基準以上の濃度で電池に含有されていることを示します。
濃度の基準は以下の通りです。
Hg：水銀（0.0005 %）、Cd：カドミウム（0.002 %）、Pb：鉛（0.004 %）
- ・欧州連合では、使用済みの電池に対して分別収集システムがあります。
各地域の収集 / リサイクルセンターにて、電池を正しく処理してください。

米国カリフォルニア州法「過塩素酸の取り扱いに関する規制」について

V9 シリーズは、米国カリフォルニア州法「過塩素酸の取り扱いに関する規制」対象製品となります。V9 シリーズ本体の梱包箱の銘板に下記を表示しています。

Perchlorate Material - special handling may apply.
See www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate/.

リチウム一次電池を搭載する V9 シリーズを組み込んだ製品をカリフォルニア州へ輸出する場合は、上記表示文を梱包箱などに記載する必要があります。

輸送時の注意事項

リチウムを含有している電池の輸送時には、輸送規制に従った取扱いが必要となります。